



学校だより

絆 きずな

金武町立嘉芸小学校
屋嘉1470番地
児童：223名
職員：29名
発行：校長 島袋ゆかり

過去 に学び、現在・未来 を考える

子ども議会

大人顔負けの質疑

11月20日、金武町議会議場にて子ども議会が開催され、本校からは6年生4名が参加しました。

愛美里さんからの質疑は、県内で米兵による事件や事故についてよく耳にすることをから「金武町の防犯対策」について、大翔さんは金武町に高校がないことから「金武町に高校を建設する予定はあるのか」についての質疑がありました。また、愛菜さんからは夜道の安全を考え「街灯設置」について、そして大晟さんからは避難訓練を通して感じた「災害避難所

の整備」についての質問がありました。4名とも堂々と大人顔負けの質疑で、子どもたちと金武町の将来が楽しみです！



職業人講話 6年生

11月11日、6年生は金武小学校と合同で、職業人講話の授業を受けました。3名の方を講師にお招きし、講話を通して働くことの意義や人生について考える機会を得ることができました。

3名の職業は様々でしたが、現在の職業に就くまでには様々な経歴や経験があり、それを積み重ねて今があるという内容に、子供たちは多くのことを学んだようです。

自分の人生について深く考えるきっかけになることを期待します。



当山久三 顕彰式

「金武町移民の日」である12月5日、雄飛の森にて「当山久三顕彰式」が行われました。各小中学校から児童生徒を代表して献花が行われ、本校からは6年生の島袋侑愛さんと石川瑠依莉さんが参加しました。沖縄県から初めて移民を送り出したのがこの日で、当山久三氏のその功績を讃え、銅像前で式が執り行われました。

偉大な先人の功績を知り、その熱い想いが子供たちに伝わり、将来の金武町や沖縄県を担う人になって欲しいと願います。



「当山久三顕彰式」にて

研究授業 1000gをこえる重さはどう表す？

主体的に学ぶ 3年1組

嘉芸小学校では今年度「自己実現を目指して主体的に学ぶ児童の育成」〜カリキュラムマネジメントを生かした教科横断的な学習を通して〜のテーマのもと校内研修を行っています。11月1日、今年度最後の研究授業が3年1組で行われました。

算数の「重さ」の単元を理科の「ものの重さを調べよう」の学習と繋げ、算数で身に付けた力を使って理科の課題解決に繋げることも想定した授業でした。

重さは、長さやかさと違い、直接視覚では捉えにくいという独特の不思議さを持っていることを踏まえ、児童にとって身近な物を取り扱うことにより、学習の意義付けを行い、学んだ事が生活に生かせるよう工夫がなされていました。

お相撲さんの写真を見た子供たちは、gとkgの関係を考え始め、体重と関連付けること

によって自分事と捉え、考えをどんどん繋いでいました。

課題に一生懸命向き合う

3年1組の子

供たちは、と

ても素敵でした！



町教委学校訪問②

11月12日、今年度2回目の金武町教育委員会学校訪問があり、十余名の皆さんが授業参観を行い、その後懇談会を行いました。

元気いっぱい授業に臨む低学年の児童や、仲間と課題解決のために話し合いを深めている高学年の児童に対して、沢山のお褒めの言葉をいただきました。

頑張りノートを手にとって、家での頑張りを見たり、新聞作成に関しては、国語力アップの面でも素晴らしい取組であると絶賛していました。

子供たちの可能性は無限大です。学校と家庭の協力を一層深め、子供たちの成長を後押ししていきましょう。



多様な学びに新たな気づき

人権・多様性を考える

11月15日、レインボーハート沖縄の竹内清文氏を講師にお招きし「LGBTQ」について考える学習を5・6年生を対象に行いました。

周りの人が知らない中で、深く悩みもがき苦しんでいる人がいることを、ご自身のエピソードを交えながら話しをされ、子供たちは「性的マイノリティ」に関する理解を深めていました。

人権や多様性についてこれまでとは違った角度で考え、いじめや差別のない、誰でも生きやすい社会にするためにはどうしたらよいかを考えるよい機会になりました。



異文化体験

11月6日、金武町海外移住者子弟研修の留学生や海外派遣の留学生が本校を訪れ、4年生を対象に交流会を実施しました。

日本と異なる文化の学習に子供たちは目を輝かせていました。

